

第1回名寄市子ども・子育て会議顛末

平成25年11月1日（金）18:00～
駅前交流プラザ「よろーな」大会議室

出席者 委員 12人（1人公務のため欠席）

事務局 健康福祉部長、こども未来課長、保健センター所長、学校教育課長、
児童センター館長、こども未来係長、保健センター主査、学校教育係長、
こども未来係主事

- 1 開会 こども未来課長の司会により開会
- 2 委嘱状交付 加藤市長より委嘱状の交付を行いました
- 3 市長挨拶
- 4 名寄市子ども・子育て会議 会長、副会長の選任
- 5 議題
 - ① 名寄市子ども・子育て会議について
 - ② 子ども・子育て支援制度について
 - ③ 確認制度について
 - ④ 名寄市の取組状況について
 - ⑤ 名寄市における人口の推計について

※ 事務局より資料の説明を行いました。質問等は出ませんでした。

⑥ 計画策定におけるアンケート調査について

事務局説明

国が示したアンケート調査票では、実際に記述するとなると非常に辛い内容となっており、わかりやすく割愛できないかという部分が全国的な議論になっており、アンケート調査を分析する業者と調整をさせていただきました。

国はもともと小学生のアンケートは考えてい wasn't でしたが、どうせやるのであれば就学児にもニーズ調査を行う自治体が多くを占めている。名寄市は国の調査票を分割して、乳幼児用と小学生用に分けてアンケートを実施したく提案させていただきたい。

中身として文言の整理は必要と考えているが、設問としても承認いただけるのであれば、体裁の部分だけ調整させていただき動き出したいと思います。

皆さんにお諮りしたいのは、内容とアンケート対象者について、どの範囲でアンケートを実施したらよいかという点です。事務局の考えとして、例えば小学生のお子さんが3人いた場合、同じも

のを3枚書かないといけなくなります。今回事務局の考えている案では、就学前の乳幼児と小学生に分けさせてもらうので、就学児の兄弟が3人いたら3人の中のどなたか一人には必ずアンケートが届くような形にする。就学前の場合にも同じである。小学生と就学前のお子さんがある家庭には、申し訳ないがそれぞれの調査票が2枚届くようになる。お子さんがいたらその家庭には必ずアンケート用紙が届くということです。委員の皆さんには色々と考えをお持ちだと思いますので、皆さんに決めていただきたい。

委員の意見

家庭のニーズがどの子もそれぞれの年齢で、例えば小学1年生と6年生とでは違うと思う。一概に一括とはならない気もする。

事務局

抽出についてばらつきが出ると出てくる数字もバラツキしてしまうので、結果兄弟での抽出はするが、就学児で言うと1年生から6年生までのアンケート被対象者数はバランスを取ります。就学前の被対象者も年齢ごとにバランスを取ります。

委員の意見

どちらのアンケートも、ひとりのお子さんについて特定する、こだわらない設問にも見受けられるのだが。

学年によっては過ごし方が違うというところを加味しているという事でしょうか。低学年や高学年のニーズの統計的なものを取りたいという趣旨があるのか。

事務局

ニーズ量の把握がメインとなります。小学生を持つ家庭でどの程度の学童保育を活用したいニーズがあるのか。保育所・幼稚園を活用したいニーズがあるのか、名寄市へ希望はあるのだが現在まだ預けていないとか潜在ニーズを含めての掘り起しで、量を掴むのが今回のアンケートの目的です。その量が出た中で、皆様方にこれだけニーズがあるのだから名寄市はこれだけの施設が必要であるという議論が必要になってくる。

委員の意見

ニーズの把握であれば、兄弟全部含めてニーズを把握していかないといけないのではないかと。

学年ごとに分けるのであれば、兄弟のいる家庭といない家庭とではニーズが違うので、子どもの人数によってわける方が良いのではないかと。

国の調査票に連動することもあって国のほうでは、高学年が入る学童保育所は何か所必要なのか、低学年のみの学童保育所がこの街では必要なのかを数字の把握でも結構必要になってくる。ある程度宛名のお子さんと学年にこだわった回答をしていかないと新しいニーズは出てこないと思う。

どこまで感知するかという事ですね。どこかで区切らないと。本当は全員配布が一番良いのだが、回収率も含めて下がる恐れがあるので、今の事務局案という事ですね。

会長の意見

ここで最終結果としてアンケートで一つの像を描くのが「ニーズ」である。そこに結びつくような形のアンケートとしてどういう方法にするのか。全員を対象にしてとるのが一番正確ではあるが、

そうはいかないので抽出という形になる。ただ学年別にやらなくてもよいのではという声もあるが、学年に応じた内容の把握が出来なくなる。学年別にやれば、どの学年でどのような利用があるかが見えてきて、それに応じた事業内容の構築をしなければならない。事務局案の抽出でも一つの概要＝アウトラインは掴めると思う。この調査票は、わかりずらくどうしたらよいか困る内容だが、ある程度は国と連動するため仕方ない調査票だと思う。

委員の意見

アンケートを書く人にとっては、何のためにやるのかわからないと思う。ニーズに応じたものを名寄市に足りないものがあれば参考にするためにアンケートを行う事を、きちんと知らせる必要があると思う。アンケートを書く人にどのように伝えていくかが、重要になると思う。

会長

調査方法について、検討している事務局案でよろしいでしょうか。

委員 承認